

# 地域と共生する園舎

周辺環境で調和し、地域と共生する施設として様々な工夫・配慮を計画します。



(ソフト面)

## 子育て支援

一時保育室を2階に配置し、入所児以外にも利用できる施設とします。また育児相談などのプライバシー確保に配慮した相談室を設置します。

## 地域との交流

園庭開放など地域に開放した交流事業などのイベントが開催しやすいスペースをつくります。

## エコロジーをわかりやすく

園の環境への取り組みについて園児・保護者にわかりやすく伝えます。  
 ・ゴミの分別にも子どもが参加できる工夫  
 ・休憩を過ぎた環境への取り組み



交流や連携がとりやすい位置にランチルームを配置

(ハード面)

## 近隣環境に配慮した配置計画

住宅地である立地環境を踏まえて、建物配置には十分に配慮し、主要なボリュームは2階建てとし、園庭を建物で囲みます。

- ・日照・・・高さを抑えて、近隣へ極力日影を落とさない工夫
- ・プライバシー・・・隣地を直接覗き込まない工夫
- ・音・・・建物に囲まれた園庭など隣地に音が減衰する工夫
- ・におい・・・厨房排気設備の位置・方向の工夫
- ・土ほこり・・・園庭の芝生化など近隣への土埃対策
- ・緑化・・・緑豊かな周辺に調和するように多様な樹木を配置

## 地域の防災拠点としての保育園

有事の際には園庭やランチルームなどを避難場所（オープンスペース）として利用可能。

## 環境にやさしい園舎

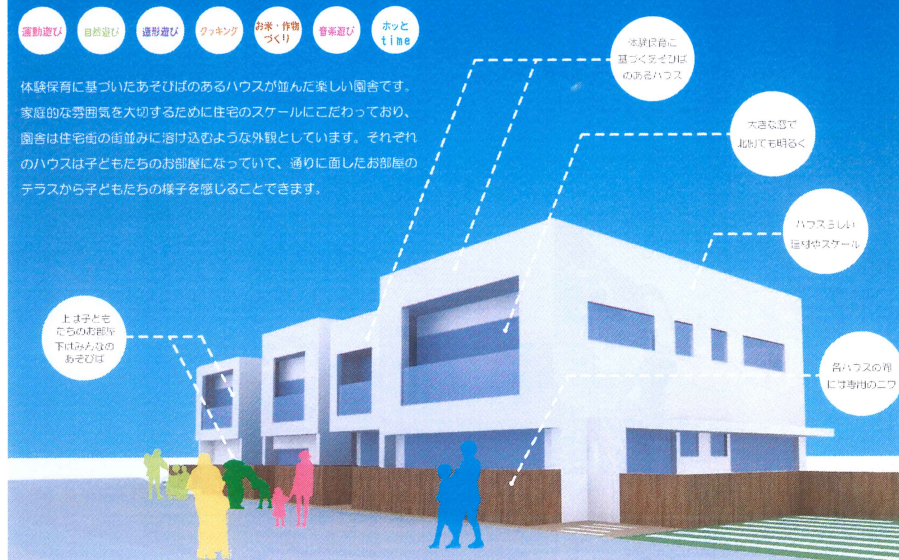
- ・自然の遮風、採光の確保による空調や照明負荷の低減
- ・屋上緑化、敷地内緑化によるヒートアイランド対策
- ・高効率省エネ器具の採用（照明・空調・給湯など）
- ・高断熱化による空調負荷の低減（外壁・屋根・ガラスなど）
- ・リサイクル建材などの採用
- ・自然素材の活用などシックスクール対策
- ・長寿命かつ更新性の高い園舎計画



LED照明はこれからのエコの主流

# あそびばハウス

## 体験保育のためのあそびば



調布市 認可保育所

# 城山保育園上石原

## お問い合わせ先

社会福祉法人 稲城青葉会 調布城山保育園  
 〒182-0013 東京都調布市深大寺南町3-17-35  
 TEL 042-452-9496  
 FAX 042-452-9497  
 URL <http://www.aobakai.or.jp>  
 E-Mail [shiroyama@aobakai.or.jp](mailto:shiroyama@aobakai.or.jp)



住宅のスケールに



こだわった園舎



# 子どもの視点に立った環境づくり

毎朝開園前からの備えであり、学びの場であり、生活の場です。多様な体験を通して成長できるような園舎を計画します。



(ソフト面)

## ■自然と親しむ体験保育

白んぼや畑での収穫や、自ら育てた野菜を調理したり体験することを大切に  
した保育が出来る環境をつくります。  
キッズキッチンでは子ども達が配膳に参加したりクッキング体験もできます。

## ■発達段階に応じた保育

静かで落ち着いたテラスや、運動できる広い園庭など、それぞれの発達段階  
に応じた保育ができる多様なスペースを計画します。また、「遊・食・寝」  
のスペース確保など園児の生活のリズムを考慮した計画とします。

## ■ふれあい・コミュニケーション

年齢ごとの領域が緩やかにつながることで、「見て学ぶ」「見られてうまく  
なる」といった効果が発生します。他のクラスの様子がわかることは、担当  
職員以外による手厚い見守りにも寄与します。



見える・見せる・参加するキッズキッチン



静かで落ち着いたテラス

(ハード面)

## ■明るく風通しのよい保育室

自然の通風・採光を確保し、四季を通じて心地よい保育環境をつくります。  
窓の向きにも配慮して、入った風が抜けやすい位置に工夫します。

## ■快適なトイレ

- ・大きな外に面した窓（紫外線殺菌、消臭）
- ・ドライ方式で清潔、メンテナンスの容易な建材

## ■子どもの居場所

多様な保育環境を準備し、子どもが自ら居場所を見つけられるようにします。

- ・子どもスケールの空間「アナグラ」
- ・自ら本を手にする読書コーナー
- ・明るいランチルームとキッズキッチン
- ・各所に配したテラス
- ・育てたものを味わえる たんぼ、畑
- ・自然と体力がつく起伏のある園庭



運動できる広い園庭

# 安全・安心、使いやすい園舎

安心して預けたい、安心して預けたい、そんな基本的なことを大切に、誰もが使いやすい園舎を計画します。



(ハード面)

## ■耐震・防災に優れた園舎

- 「より安全」を目指して有事に強い建物とします。
- ・バランスのよい構造計画
- ・構造係数の割り増しによる耐震性能の向上
- ・適切な防火区画
- ・バルコニーなど適切な避難経路計画



階段から転落しない防し柵

## ■大きなけがをしない園舎

- 危険を学ぶこと以上の致命的な怪我を避ける工夫をします。
- ・指挟み防止策
- ・窓や扉の形状を工夫
- ・勝手に出て行かない策
- ・鍵の高さや種類の工夫
- ・道路への飛び出し防止策
- ・玄関前スペースの工夫
- ・ガラスの飛散防止策
- ・飛散防止フィルム、強化ガラスの採用
- ・ものが落ちない策
- ・吊戸鉤の耐震ラッチやすべり止め工夫
- ・ものが破損、転倒しない策
- ・網戸形状や家具の固定工夫
- ・転落しない策
- ・柵の高さや、隙間の寸法の工夫



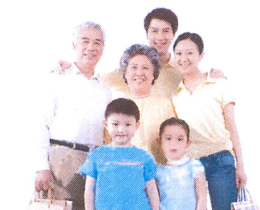
お互いが見通せる空間づくり

## ■管理しやすい園舎

- 不審者対策や、不慮の事故防止のために「見通しのよい」園舎とします。
- ・出入口付近に事務室を配置
- ・死角の少ない保育環境（互いに見守る保育）
- ・防犯カメラによる外部不審者の抑止効果と、園内での危険を未然に察知
- ・電気錠やカメラ付きインターホンなどのセキュリティシステム
- ・地域開放時の動線の工夫

## ■誰もが使いやすい園舎

- ユニバーサルデザインを基本とし、子どもや保育者、保護者にとって使い  
やすいことはもちろん、高齢者、障害者、妊婦など全ての人にとって使い  
やすい園舎とします。
- ・大人数が集まるスペースは使い勝手のよい1階に配置
- ・トイレのスケールや設備
- ・廊下のスケール
- ・手摺の形状や高さ
- ・エレベーターのサイズ検討
- ・サイン計画（色彩や大きさ）



誰もが使いやすい事を工夫すること



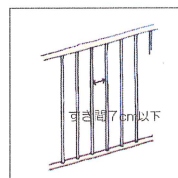
明るく風通しのよい保育室



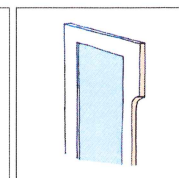
明るく快適なトイレ



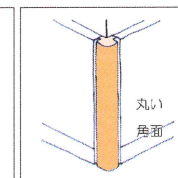
子どもだけの場所「アナグラ」



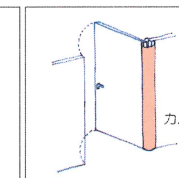
適正なすき間寸法



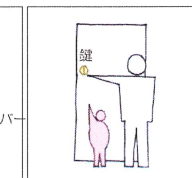
引戸の指はさみ防止策



角部の安全処理策



開戸の指はさみ防止策



鍵を大人の高さに設置